



事業の評価											予算		担当課				
■ 施策(4)家庭の教育力の向上											予算・3次		※赤字が評価を記載した課				
【Plan】計画				【Do】実施							【Check】評価		【Action】改善		予算	3次予算	担当課
担当課	事業番号	事業名	事業概要	令和元年度の事業計画	令和元年度の実績	活動指標					評価	理由(分析)	次年度	達成や課題	予算	3次予算	担当課
						区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度						
1	72	子どもの読書活動の推進	学校における10分間読書の継続・充実や家庭への働きかけ等、言葉の力の向上につながる読書習慣の定着を図る。また、学校図書館職員の配置やブックヘルパー等の活用により、すべての小中学校で学校図書館の常時開館を実現する。	①「新・北九州市子ども読書プラン」に掲載されている36項目の実施 ※36項目の例 「ノーテレビ、ノーゲーム、読書の日」の推進 「家族(うちく)の推進」 10分間読書の推進 ・利用しやすい学校図書館の環境づくりなど	①36項目全て実施	北九州市子ども読書プランに掲載されている施策・項目(428年度からは新・北九州市子ども読書プラン) 【現状値】	27項目	36項目	36項目	36項目	36項目	達成	・指標である「子ども読書プラン」の36項目を実施し、子どもの読書を推進する取組みを進めることができた。 ・学校図書館職員の配置拡充を図り、学校における読書活動の推進を図ることができた。 ・10分間読書などの一斉読書の時間の実施や郷土コーナーの設置など、学校における読書活動を推進する取組みを進めることができた。 ・新プランに基づき、全ての項目に取り組み、プランに掲げた目標に向けて進捗中であることから、「達成」とした。	・子どもの読書活動の推進を図るため、最終年度となる「新・北九州市子ども読書プラン」の見直しを行い、取組みの一層の充実を図る。 ・学校図書館職員の配置を市内全中学校校区に広げ、学校図書館を「読書」「学習」「情報」という3つの機能を持つセンターとして位置づけ、環境整備を進める。 ・子ども図書館を拠点として、市立図書館、学校、子育て関連施設等との連携を強化していく。			教育・子ども図書館指導第一課 庶務課 学事課
1	73	はじめての絵本事業(ブックスタート事業)	①はじめての絵本事業 妊娠時の早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、おなかの赤ちゃんに絵本を読んでもらうことにより、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらえよう。平成28年10月より、母子健康手帳の交付時に「絵本ハック」を無料で配布する。 ②ブックスタート事業 はじめての絵本事業に移行したが、移行以前に母子健康手帳の交付を受けた方に対して案内はがきと引換に「絵本ハック」を無料で配布する。 また、本にふれあうきっかけづくりとして、市立図書館、保育所、親子ふれあいルーム等で読み聞かせを実施しその体験を家庭でも生かしていただけるように努める。	①母子健康手帳の交付時に「絵本ハック」を無料で配布。 ②赤ちゃんのいる家庭への「絵本ハック」の無料配布	①配布 ②配布	絵本バック配布率 【現状値】 67.1% (平成26年度) 【目標】 100% (平成32年度)	70.0%	75.0%	85.0%	95.0%	95.0%	達成	・平成28年10月より、母子健康手帳の交付時に「絵本ハック」を配布するようにしたことにより配布率が向上し、単年度目標の達成率が100%を超えていることから、「達成」とした。 ・妊娠時の早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、おなかの赤ちゃんに絵本を読んでもらうことにより、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらえよう。母子健康手帳の交付時に「絵本ハック」を無料で配布する「はじめての絵本事業を継続する。			教育・子ども図書館	
2	74	北九州市子どもを育てる10か条の普及促進活動	子どもの基本的な生活習慣の定着や、家庭や地域の教育力の向上を図るため、「子育て・早起き・朝ごはん運動」や「北九州市子どもを育てる10か条」を、市民に広く実践してもらおうための普及促進を図る。	①子どもを育てる10か条を広く市民に広めるための出前講演開催。	①出前講演を実施7回	出前講演開催回数 【現状値】 15回 (H26年度) 【目標】 10回	10回	10回	10回	10回	10回	概ね達成	出前講演開催回数が単年度目標を達成できていないが、啓発については、チラシやのぼり旗を各小中学校や市民センターへ配布し、各種講演会等での唱和など継続してPRに取り組んでおり、認知度は高いことから「概ね達成」とした。 【課題】 学校や市民センター等での啓発により認知度が高まる一方、認知範囲に限りがあるという課題がある。 【改善】 引き続き、幼稚園、小学校及び市民センター等に対し、チラシ・ポスターの配布、各種会議・講演会・行事などでの唱和等を実施する。			教育・指導第二課	
2	75	「子どもまつり」の充実	家庭におけるコミュニケーションの促進を図るため、「子どもまつり」の中で親子のふれあい等を高めることができる催しを実施する。	①各区における「子どもまつり」の実施 ②親子のふれあいの推進	①②各区で趣向を凝らしたイベントを実施した。 来場者総数:55,355人	来場者数 【現状値】 79,264人 (H25年度) 【目標】 増加	79,264人	74,700人	75,406人	79,710人	69,717人	55,355人	概ね達成	・来場者数が減少傾向にあるものの、毎年、数多くの親子連れが来場し、親子で一緒に楽しむことができる体験の機会を提供することができ、親子のふれあいの推進につながっているため「概ね達成」とした。 ・さらに多くの親子等に参加してもらえよう効果的な広報を行う。 ・チラシや市政だより、ホームページ、フリーペーパーなどで、広く市民への呼びかけを行う。			子どもまつり
3	76	家族のためのペアレントトレーニング事業	虐待の再発防止および発生予防を図るため、「虐待を行った保護者」および「養育不安のある保護者」に対して、「家族再統合コース」「養育不安コース」の二種類のプログラムを実施し、児童に対する養育技術に関する訓練を行う。また、保護者がより受講しやすいプログラムの導入についても検証し、より効果的な事業となるよう取り組む。	①「家族再統合コース」プログラムを実施する。 ②「養育不安コース」プログラムを実施する。	①参加家族数 13家族 ②参加家族数 17家族	ペアレントトレーニング事業参加家族数 【現状値】 28家族 (H26年度) 【目標】 目標設定なし	36家族	38家族	31家族	30家族	29家族	達成	・本事業実施により、虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行い、特別な支援を要する子どもや家庭への支援を図ることができ、実績値が現状値を上回る実施状況で推移しているため。 【課題】 ・中断するケースの継続実施 ・保護者同士の交流の促進 【改善】 ・適応ケースを見極め、継続実施にむけた動機付けを高める。 ・保護者同士の交流をより促進するようプログラムを検討する。			家族のためのペアレントトレーニング事業	